

キャリア教育の資質・能力を向上させるための重点単元計画

福山市立新市中央中学校

キャリア教育で育てる資質・能力

3観点	思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/思考・判断・表現
資質能力	チャレンジ&チェンジする力	自己理解力	自己表現力
中2・3	・目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。 ・達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。	日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。	自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。
中1	活動をふり振り返り、改善策を考える。	自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。

学年	教科	単元名(全4時間)	教科の目標	キャリア教育で育てる資質・能力	関連企業等
1 ・ 2 ・ 3	音楽	パートの役割と全体の響き	知 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身につけ、歌唱で表現している	自己理解 ・日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。(2・3年) ・自分の将来の夢や目標を持つ。(1年)	なし
			思 音楽の要素が生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を持っている	★自己表現 ・自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。(2・3年) ・自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。(1年)	
			主 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている	チ ・目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。(2・3年) ・達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。(2・3年) 活動をふり振り返り、改善策を考える。(1年)	
次	時	学習活動 ★出前授業/キャリア	・指導上の留意点	○教科の評価規準 ★キャリア教育で育成する資質・能力の評価規準	評価方法 例：行動観察 ワークシート ペーパーテストなど
1	1	1 ・曲を聴き、パートの役割の確認をする ・パート毎の音取りをし、旋律を覚える	・自分たちがこの曲で何を表現したいか、どんな歌にしたいかを全体で共通認識を持たせる ・主旋律部分の確認をし、楽譜に記入させる ・パートリーダーを中心にCDに合わせて音取りをさせる 必要に応じて教師がピアノで個別に音取りをおこなう ・音が撮りにくい場所など、個人での気づきを楽譜にメモさせておく	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。(知) ○創意工夫を生かした表現で、歌うために必要な、全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけ、歌唱で表現している。(知)	・行動観察 ・演奏聴取 ・ワークシート(楽譜) ・ふりかえり
2	2	1 ・全体で合唱する ★パート毎に、気づきを出し合い、練習箇所・方法を確認する 1 ・全体での合唱を録音し、視聴する ★全体での気づきを出し合い、表現方法や練習方法について話し合う	・技能面、表現面での気づきを出させ、それぞれの改善方法を具体的に考えさせる ・必要に応じてアドバイスをおこなう ・1次で考えた自分たちの表現したい音楽が、聴き手に伝わるかという視点を持って、視聴させる	○★音色、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。(思)	
3	1	1 ・話し合ったことを基に練習する ・全体で合唱し、録音→視聴 ★クラス練習でのポイントを共有する	・上手く音が取れないなど、苦手な生徒のフォロー方法も考えさせる ・前時に考えた方法で改善されたかを確認させ、必要であれば方法の練直しをさせる ・授業を通して学んだ方法を生かしてクラス練習に臨むよう伝える	○歌詞が表す心情及び表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	

本単元での成果・子どもの姿(子どもの意見など)
○振り返りから「自分の意見を他者に伝えることができるようになった」「できない部分をどうしたらできるか考えることができた」など達成感を感じた生徒が多かった。

本単元での課題・改善案
○よりよくするための活動に入るには、最低限歌えるようになっておく必要がある。音程だけでなく表現面での工夫・話し合いができるようにする。